

2月10日（日）、午後1時30分から

下田市民文化会館小ホールで

シンポジウム「浜岡原発と伊豆半島に住む私たち」

シンポジウム

浜岡原発と伊豆半島に住む私たち

テーマ①

原発も核兵器もない安心して暮らせる時代を築こう

テーマ②

再稼働計画が進む浜岡原発と伊豆半島の自然とそこに住む私たちの生活

基調報告者（パネラー）

司会 小林弘次

すべての原発をとめよう伊豆半島住民連合会代表

中山千夏 さん

作家 直木賞の候補作にもなった「子役の時間」など著書多数。元参議院議員 現在伊豆新聞・琉球新聞にエッセイ連載中。反戦平和・人権問題をテーマに全国的に活動。伊東市在住

堀 考信 さん

原発震災を防ぐ風下の会代表 元三島市議会議員 静岡空港建設反対運動に参加。地域の住民運動にかかわる。三島市在住

藤井 廣明 さん

東伊豆町町議会議員 風力発電に係わる健康被害、森林破壊など自然環境を守る住民運動の先頭に立って闘う。大飯原発、川内原発など再稼働反対の運動に参加。福島県出身

日吉 雄太 さん

衆議院議員（自由党） 県下反原発住民運動に積極的に参加。野党共同提案の「原発ゼロ法案」提出に尽力。伊東市出身



浜岡原発

大勢の皆さんの参加をお願いします。

2019年

日時 2月10日（日）
午後1時30分

場所 下田市民文化会館
小ホール
入場無料

2011年3月に発生した東日本大震災で、これまで予想もされなかった原発事故が発生しました。東京電力福島第一原発で津波と強い地震動で4基の原発が爆発しました。この事故は1986年に起きたチェルノブイリ原発事故に匹敵する大事故でした。見えない放射能は伊豆半島の伊東市や伊豆市まで数百キロに及びました。あれから8年たとうとしている今も高濃度の放射能を放出し、地下水などを汚染し続けています。また、大勢の子どもたちが甲状腺ガンに苦しんでいます。この先何年かかっても現在の人間が持つ技術では事故処理は不可能とさえ思われます。

このような状況の下でも日本政府は、財界や電力会社の求めに従って停止されていた原発の再稼働を次々と進めています。南海トラフの巨大地震の震源域の真上に立地されている浜岡原発も、中部電力と政府の手によって再稼働の準備が着々と進められています。浜岡原発で東京電力福島第一原発と同じような事故が発生した場合、私たちの住む伊豆半島はもちろん放射能の被害は中部圏や首都圏にまで及ぶ壊滅的な事故になると思われます。

何としても、みんなの力で浜岡原発の再稼働は阻止しなければなりません。

2019年1月 すべての原発をとめよう伊豆半島住民連合会

連絡先 0558-22-8595